



平成27年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月8日

上場会社名 トラストホールディングス株式会社
 コード番号 3286 URL <http://www.trust-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 福

(氏名) 喜久田 匡宏
 (氏名) 宮石 啓司

TEL 092-437-8944

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第3四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第3四半期	9,403	△7.5	81	△90.5	△64	—	△88	—
26年6月期第3四半期	10,162	—	861	—	752	—	391	—

(注) 包括利益 27年6月期第3四半期 △88百万円 (—%) 26年6月期第3四半期 390百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第3四半期	△18.73	—
26年6月期第3四半期	82.86	82.03

(注) 当社は、平成25年7月1日に単独株式移転により設立したため、平成26年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期第3四半期	16,817	989	5.9	208.83
26年6月期	12,853	1,156	9.0	244.56

(参考) 自己資本 27年6月期第3四半期 989百万円 26年6月期 1,156百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	8.20	—	8.20	16.40
27年6月期	—	8.20	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	8.20	16.40

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(注2) 平成26年6月期第2四半期末の配当原資は、その他資本剰余金であります。

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	13.2	580	△15.7	430	△19.5	220	34.9	46.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期3Q	5,165,000 株	26年6月期	5,160,000 株
② 期末自己株式数	27年6月期3Q	426,985 株	26年6月期	432,085 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期3Q	4,733,125 株	26年6月期3Q	4,727,071 株

(注) 期末自己株式数は、株式付与ESOP信託が所有する当社株式が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が一時、政府・日銀による経済政策や大胆な金融政策などを背景として、企業業績の向上や雇用環境の改善など、着実に景気回復の兆しが見られてきております。

このような状況の中、当社グループは駐車場事業につきましては、前連結会計年度において一時的に悪化した収益の改善に積極的に取り組んでまいりました。不動産等事業につきましては、当第3四半期連結累計期間においては、新築マンション2棟「トラスト前原中央ネクサージュ（福岡県糸島市、72戸）」、「トラストネクサス小野田駅前（山口県山陽小野田市、36戸）」が竣工、前連結会計年度竣工物件と合わせ、マンション107戸、戸建4戸の引渡しを実施いたしました。ウォーター事業につきましては、認知度向上、固定客確保のため、先行投資として広告宣伝費等を積極的に投入してまいりました。

以上の結果、売上高は9,403,497千円（前年同期比7.5%減）、営業利益81,871千円（前年同期比90.5%減）、経常損失64,781千円（前年同期は752,128千円の経常利益）、四半期純損失は88,674千円（前年同期は391,713千円の四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しておりますが、「ウォーター事業」については前第4四半期連結会計期間より事業を開始しているため、前第3四半期連結累計期間における該当事項はありません。

①駐車場事業

主に前連結会計年度にオープンした駐車場の早期収益化を図ることを中心とした既存駐車場の活性化に注力することに加え、低採算駐車場の地代交渉、閉鎖等を積極的に実施、新規駐車場の開発強化についても継続して取り組み、前第3四半期連結累計期間における営業利益が96,460千円と低迷した駐車場事業の大幅な収益改善を図ってまいりました。

以上の結果、売上高は5,110,783千円（前年同期比15.3%増）、営業利益374,139千円（前年同期比287.9%増）となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の駐車場数は767ヶ所（前年同期より40ヶ所増、前連結会計年度末より5ヶ所増）、車室数は28,153車室（前年同期より2,667車室増、前連結会計年度末より103車室増）となっております。

②不動産等事業

不動産等事業につきましては、前第3四半期連結累計期間においては3棟254戸の新築マンションが竣工いたしました。当第3四半期連結累計期間においては、2棟108戸の新築マンション「トラスト前原中央ネクサージュ（福岡県糸島市、72戸）」、「トラストネクサス小野田駅前（山口県山陽小野田市、36戸）」が竣工いたしました。

なお、第4四半期連結会計期間におきましては「トラストネクサス長崎オーシャンコート（長崎県長崎市、48戸）」の竣工を予定しております。

以上の結果、売上高は2,935,154千円（前年同期比47.8%減）、営業利益69,042千円（前年同期比91.3%減）となりました。

③ウォーター事業

水素水の販売を中心として行うウォーター事業につきましては、前連結会計年度より段階的に事業を開始いたしました。当第3四半期連結累計期間におきましては、認知度向上、固定客確保のため、先行投資として広告宣伝費等を積極的に投入し、アルミパウチタイプの高濃度水素水「TRUST WATER（トラストウォーター）」を中心に売上を伸ばしてまいりました。

以上の結果、売上高731,876千円、営業損失299,328千円となりました。

④その他事業

その他事業につきましては、前連結会計年度より運営を開始いたしました温浴施設「那珂川清滝（福岡県筑紫郡那珂川町）」をはじめとし、ゴルフ練習場「カスタネット倶楽部水巻（福岡県遠賀郡水巻町）」、広告事業、メディアカルサービス事業等の新規事業は概ね堅調に推移いたしました。また、警備事業におきましても、駐車場警備を中心に、契約を積み重ねてまいりました。

以上の結果、売上高625,682千円（前年同期比512.1%増）、営業損失27,858千円（前年同期は31,140千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して6,444,205千円増加し、10,769,105千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加1,382,348千円、販売用不動産の増加4,416,925千円、仕掛販売用不動産の増加509,597千円、商品及び製品の増加44,982千円等によるものであります。固定資産は前連結会計年度末と比較して2,480,144千円減少し、6,048,892千円となりました。これは主に、土地の減少2,295,362千円、建物及び構築物の減少603,413千円、償却によるのれんの減少69,212千円等によるものであります。

この結果、総資産は16,817,997千円となり、前連結会計年度末に比べ、3,964,060千円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して1,808,022千円増加し、7,034,718千円となりました。これは主に、買掛金の増加998,166千円、短期借入金の増加631,000千円、1年内返済予定の長期借入金の増加135,948千円、未払法人税等の減少124,323千円等によるものであります。固定負債は前連結会計年度末と比較して2,322,884千円増加し、8,793,815千円となりました。これは主に、長期借入金の増加2,288,830千円等によるものであります。

この結果、負債合計は15,828,533千円となり、前連結会計年度末に比べ4,130,907千円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して166,846千円減少し、989,464千円となりました。これは主に、配当金の支払80,973千円、四半期純損失の計上88,674千円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は5.9%（前連結会計年度末は9.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年8月8日に公表いたしました「平成26年6月期決算短信」における連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結累計期間において、株式会社ジーエートラストを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用)

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成25年12月25日）を第1四半期連結会計期間より適用し、信託が保有する株式に対する当社からの配当金及び信託に関する諸費用の純額を資産又は負債に計上しております。

当該会計方針の変更による影響はありません。

なお、従業員へ割り当てられたポイントに対する引当金については、内容をより明瞭に表示するため「退職給付に係る負債」から「株式給付引当金」に表示科目を変更しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,390,425	2,772,773
受取手形及び売掛金	242,573	381,288
販売用不動産	750,906	5,167,832
仕掛販売用不動産	1,230,581	1,740,179
商品及び製品	13,510	58,493
原材料及び貯蔵品	26,953	16,404
その他	674,598	638,278
貸倒引当金	△4,648	△6,144
流動資産合計	4,324,900	10,769,105
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,099,129	1,495,716
土地	4,151,736	1,856,374
その他(純額)	670,736	1,069,418
有形固定資産合計	6,921,602	4,421,509
無形固定資産		
のれん	563,693	494,480
その他	170,791	175,884
無形固定資産合計	734,484	670,365
投資その他の資産		
その他	875,197	958,156
貸倒引当金	△2,247	△1,139
投資その他の資産合計	872,949	957,017
固定資産合計	8,529,037	6,048,892
資産合計	12,853,937	16,817,997

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	152,050	1,150,217
短期借入金	2,754,000	3,385,000
1年内返済予定の長期借入金	938,951	1,074,900
未払法人税等	155,055	30,732
賞与引当金	—	14,594
役員賞与引当金	—	5,050
ポイント引当金	20,725	18,738
返品調整引当金	—	953
資産除去債務	1,757	5,557
その他	1,204,153	1,348,974
流動負債合計	5,226,695	7,034,718
固定負債		
長期借入金	5,808,491	8,097,321
株式給付引当金	5,571	6,566
退職給付に係る負債	32,588	35,345
資産除去債務	44,963	41,740
その他	579,316	612,841
固定負債合計	6,470,931	8,793,815
負債合計	11,697,626	15,828,533
純資産の部		
株主資本		
資本金	418,561	419,059
資本剰余金	219,651	220,149
利益剰余金	726,411	556,763
自己株式	△208,072	△206,439
株主資本合計	1,156,550	989,532
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△251	△89
その他の包括利益累計額合計	△251	△89
少数株主持分	11	21
純資産合計	1,156,311	989,464
負債純資産合計	12,853,937	16,817,997

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
売上高	10,162,319	9,403,497
売上原価	7,833,774	7,127,670
売上総利益	2,328,544	2,275,827
販売費及び一般管理費	1,467,452	2,193,955
営業利益	861,091	81,871
営業外収益		
受取利息	1,398	17,011
受取配当金	117	88
投資有価証券売却益	1,957	3,460
その他	9,337	17,583
営業外収益合計	12,810	38,144
営業外費用		
支払利息	97,421	152,265
その他	24,352	32,532
営業外費用合計	121,773	184,797
経常利益又は経常損失(△)	752,128	△64,781
特別利益		
固定資産売却益	326	674
特別利益合計	326	674
特別損失		
減損損失	21,968	19,609
固定資産除却損	305	405
特別損失合計	22,273	20,014
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	730,181	△84,121
法人税、住民税及び事業税	328,034	32,225
法人税等調整額	10,434	△27,683
法人税等合計	338,469	4,542
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	391,712	△88,663
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1	10
四半期純利益又は四半期純損失(△)	391,713	△88,674

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	391,712	△88,663
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,009	161
その他の包括利益合計	△1,009	161
四半期包括利益	390,702	△88,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	390,704	△88,513
少数株主に係る四半期包括利益	△1	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I. 前第3四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	駐車場 事業	不動産等 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	4,433,087	5,627,013	10,060,101	102,217	10,162,319	—	10,162,319
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,024	9,728	11,752	30,354	42,106	(42,106)	—
計	4,435,112	5,636,741	10,071,853	132,571	10,204,425	(42,106)	10,162,319
セグメント利益 又は損失(△)	96,460	792,086	888,546	△31,140	857,406	3,685	861,091

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業、メディカルサービス事業、アミューズメント事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去147,999千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△145,766千円及び棚卸資産等の調整額1,453千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「駐車場事業」セグメントにおいて、主に収益性が著しく低下した店舗設備の帳簿価額を回収可能性額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。また、経営環境および今後の見通しを勘案し、のれんの評価を見直した結果、のれんの減損損失が発生しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては16,490千円(うち、のれんの減損損失は、6,826千円)であります。

「不動産等事業」セグメントにおいて、主に収益性が著しく低下した設備の簿価額を回収可能性額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては5,477千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「駐車場事業」セグメントにおいて、経営環境および今後の見通しを勘案し、のれんの評価を見直した結果、のれんの減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は6,826千円であります。

Ⅱ. 当第3四半期連結累計期間（自平成26年7月1日至平成27年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	駐車場 事業	不動産等 事業	ウォーター 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	5,110,783	2,935,154	731,876	8,777,815	625,682	9,403,497	—	9,403,497
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	2,437	17,332	934	20,704	37,014	57,718	(57,718)	—
計	5,113,220	2,952,487	732,811	8,798,519	662,696	9,461,216	(57,718)	9,403,497
セグメント利 益又は損失 (△)	374,139	69,042	△299,328	143,853	△27,858	115,994	△34,122	81,871

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業、メディカルサービス事業、アミューズメント事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去238,021千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△272,183千円及び棚卸資産等の調整額39千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「その他」に含まれていた「ウォーター事業」について金額的重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、「ウォーター事業」については前第4四半期連結会計期間より事業を開始しているため、前第3四半期連結累計期間における該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「駐車場事業」セグメントにおいて、主に収益性が著しく低下した店舗設備の帳簿価額を回収可能性額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては19,609千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。